

第4回鎌倉駅西口駅前広場整備に関するアドバイザー会議議事概要

1	日 時	平成30年3月30日(金) 14:00~16:00
2	場 所	大船駅周辺整備事務所1階会議室
3	出 席 者	<p>アドバイザー：大木アドバイザー (株式会社オクトプランニング&デザイン代表取締役) 志村アドバイザー(東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授) 福岡アドバイザー (東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授)</p> <p>鎌倉市(事務局)：拠点整備部 前田部長 宇高次長兼再開発担当課長 再開発課駅周辺整備担当 菅原係長 再開発担当 中山職員</p>
4	議 題	<p>(1)パブリックコメントの結果及び鎌倉駅西口駅前時計台広場の再整備に関する整備方針の策定について</p> <p>(2)整備方針図の修正・検討事項について</p>
5	議事要旨	<p>鎌倉駅西口駅前広場について、資料をもとに説明を行いました。主な意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 整備方針図の修正・検討事項について ・広場の設計範囲のみならず、周辺から広場がどのように見えるのか？広場から周辺への眺望なども意識した上で設計を進めることが重要である。 ・広場をどれくらい明るい雰囲気にしていくか、植栽計画とどう絡めるかが大事である。できれば高さを抑えて、明るくしたい。 ・擁壁にルーバーがつくと、圧迫感がでてくるので、少し距離をあけて、セットバックさせたところにルーバーを設置し、セットバックの部分に植栽を行っても良いのではないか。 ・時計塔は、モニュメントのように、見るだけのものではなく、今のように、触れられるようにしてはどうか。必ずしもベンチの必要はなく、基壇部が座れる機能や形態であれば、それで良い。 ・ベンチに関しては、時計塔を眺められるような位置に配置しても良い。 ・ベンチも、役割と機能を意識し、奥側は、既製外のものを使い、手前側は、既製品を配置する等して、メリハリをつけるのも良い。 ・地元住民が利用する広場というよりは、観光客向けの待ち合わせ場所の傾向が強いので、集合のためのスペースを手前側につくのが良い。 ・狭い空間を広く見せるには、曲線を入れるのであれば、できるだけ大きな曲線とした方が良い。 ・夏はとても暑くなると思われる。広場の中心に、快適な緑陰をつくれるように、追加で高木の植栽を行うのが良い。 ・クスノキ周りの縁側には工夫が必要である。動線は確保しつつ、座れる計画とした方が良い。 ・時計塔をバックに記念写真等を撮ったときに、緑が写るような植栽計画とすること

		<p>も考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・舗装については、全体的に均質な材料にした方がよい。手前側をグレーのみずほ銀行前の歩道と同じとし、ひとだまりスペースは、彩度の高い、明るい色にする等が考えられる。・照明計画を考えるにあたっては、手前側と奥側を明るくし、時計塔付近は、ライトアップするのであれば、少し照度を下げるといった案も考えられる。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none">・広場のハード整備のみならず、より魅力的な広場の賑わいづくりのためのマネジメントの検討も必要である。・広場の維持管理についてだが、観光客がいなくなる時間帯の有効活用等が考えられるのではないか。小さなイベントでも良いので、何かしていくのが大事だ。・朝とか夜は、地元の人が使えようとするなど。ヒアリングやサウンディングを行い、どういった空間だったら使いたいと思うか等聞くのも良いかもしれない。市民協働事業も有り得るのではないか。・企業の CSR 活動として、清掃や花を植える等の活動の場として使ってもらうことも考えられるのではないか。
--	--	--